



技術書ヒットメーカー2人が
ノウハウをついに大公開!

わかりやすい技術書ってどう書くの?
初学者向け書籍**執筆の極意**、教えます。

2022年3月12日



質問・感想お気軽にどうぞ!
#osc22on

パネリスト:
小笠原 種高
大澤 文孝
MC:
馮 富久

(モウフカブール)
(モウフカブール)

(株式会社技術評論社)

自己紹介



パネリスト：小笠原 種高
(モウフカブール)

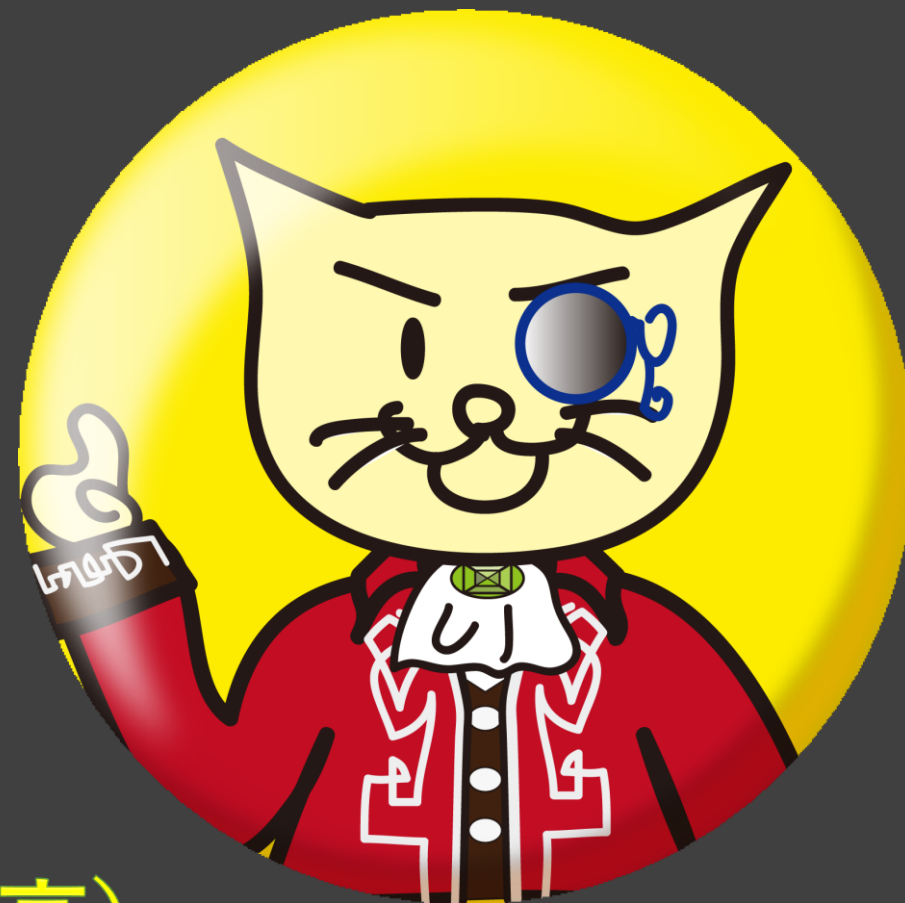


パネリスト：大澤 文孝
(モウフカブール)



MC：馮 富久
(株式会社技術評論社)

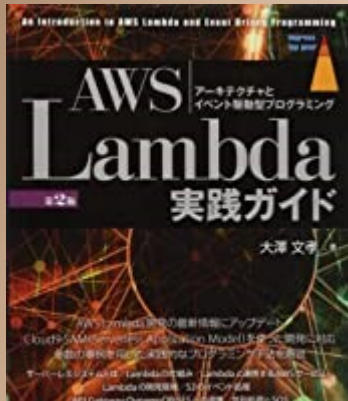
Who Am I?



にゃごろう陛下 (小笠原種高)

職業はニートと名乗りたいのだが、年齢を超えてしまったので、
本とネットをさすらう風来坊ということにしている。できるだけ家から出たくない。
世を忍ぶ仮の姿として、時々本を出したり、開発に関わっている。

Who Am I?



先月と今月で3冊出たよ!

大澤文孝 (おおさわふみたか)

技術ライター／システムエンジニア／プログラマ／インフラエンジニア。
著書はもうすぐ100冊（そろそろ越えたかも）。
100冊記念パーティーやりたい（けど反対されている）。



参考資料：担当編集者から見たパネリストの素顔

今回の発表にあたり、パネリスト2名を担当した編集者に事前アンケートを実施しました。

アンケート質問内容：

- モウフカブールの書く書籍の魅力
- ここの書き方に唸った、ここの部分が良かった
- お二人の書籍を勧めたい読者層

アンケート協力会社（50音順）：

インプレス、技術評論社、秀和システム、T S U C 合同会社、東京化学同人、日経BP社、リブロワークス他（回答数10）

※ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

モウフカブールの書く書籍の魅力

- 普通なら説明を割愛してしまう部分でも、読者が引っ掛かりそうな点はきちんと説明している点
- 学習をこれから始めようという人にとって読みやすい、かみ砕いた文章がやはり最大の魅力
『仕組みと使い方がわかる Docker&Kubernetesのきほんのきほん』
- 具体的で多くの人にわかりやすい実例を取り上げており、実装可能なプログラミングを学べる
『Python・クラウドを用いた実践AI開発』
- 最後まで確実に読み進められること。常に読者と同じ目線で、読者が理解しやすい順番で構成している点
『さわって学ぶクラウドインフラ docker基礎からのコンテナ構築』
- 難しい内容でもわかりやすい図を描いて解説してくれる
『図解即戦力 Amazon Web Servicesのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書』
- エンジニアとライターを兼ねているから書ける、実践的でかつ読みやすい内容
『ゼロからわかるAmazon Web Services超入門 はじめてのクラウド』
- いい意味で背伸びしない、難しい内容にジャンプせずに基礎からしっかり説明しているところ
『ゼロからわかる Linux Webサーバー超入門 [Apache HTTP Server対応版]』

この書き方に唸った、この部分が良かった

- 「環境を丸ごと用意する」ことで入口の設定など初学者の熱意が冷めやすいタイミングをスキップすることができた
『これから始めるMySQL』
- たとえば、子ども向けの変数の解説では、変数を段ボール箱にたとえ、「『段ボールに入っている野菜や果物はすべて皮むきしてね』と伝えれば、野菜や果物の個数をいちいち伝える必要がなくなる」という内容で、大人でもわかりにくい変数の概念をイメージしやすく説明してくれた
『できるキッズ 子どもと学ぶLINE entryプログラミング入門』
- 初めての人がつまずきやすいポイントを押さえていて、読者をつまずかせないように、また、なぜつまずきやすいのかを説明していたこと（例「ここでこの値をメモしておかないと、〇〇ページで困る」などと丁寧に説明していた）
『さわって学ぶクラウドインフラ docker基礎からのコンテナ構築』
- AWSの場合、サービスの説明なのでどうしてもだらだらと事実だけを並べる文章になりがちなところを、必要な単語と技術のみをうまく抜き出し、簡潔に説明している
『図解即戦力 Amazon Web Servicesのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書』
- 翻訳書なので、原著のコードの検証をし内容を更新してくれたことに加え、日本の現状に合わせて追記してくれた
『Python・クラウドを用いた実践AI開発』
- ゆるキャラを登場させ、堅苦しくない雰囲気での学習できるのが良かった

『UiPath入門 基本編/アプリ操作編』

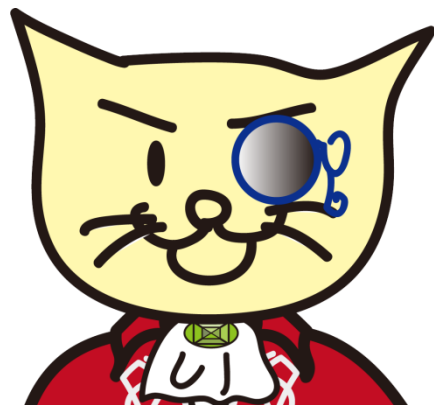
お二人の書籍を勧めたい読者層

- 若手エンジニアなどの入門者
- DockerとKubernetesが怖いすべてのひとに読んで欲しい
- たくさんのエンジニアさん、非エンジニアさん
- 専門書を買うことに満足している人（完読していないことが多いと思われるから）。1冊読み終わると、「身についた」感が味わる
- プログラミングや最新のIT技術を学びたい方、興味がある方
- まず1冊、できれば肩肘張らない程度のものを読んでみようと思っている人
- （上に加えて）「ある程度内容がしっかりしたものを」という（ちとワガママな）希望がある人
- プロのエンジニアを目指している初心者の方
- 基礎知識も怪しいけどとにかくエンジニアに興味のある方

トピック1： ずばり！技術書を書くには？

- ・ 技術書を書いたきっかけは？
- ・ 出版するにはどういう方法があるの？

執筆活動をするようになったきっかけは？



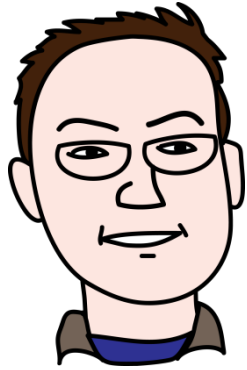
にゃごろう陛下 (小笠原種高)

職場の先輩が、
大澤君だった。

雑誌 (月刊I/O) の
投稿者だった。



大澤文孝 (ツイステが好き)



本を出版する方法

- 出版社から
→ 出版社へ持ち込み or 出版社からリクエスト
→ 自費出版（費用負担）
- 同人誌として / 自費出版として

最近では、PODの多様化や電子出版など選択肢が広がる

出版社からの出版について（補足）

出版社の企画として出版する場合、

- ・企画審査通過後、
編集、DTP（デザイナー）、販売など、出版社が

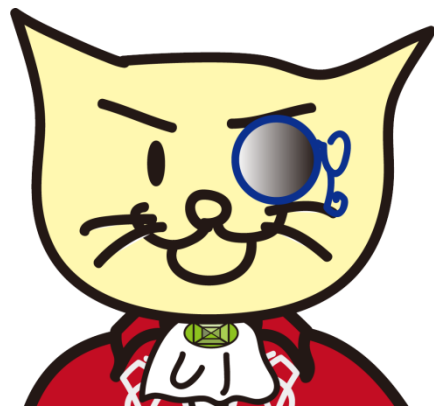
原稿を「書籍（雑誌）」の形として流通させる

ための工程を担当する。

トピック2： わかりやすい内容を書くヒント

- ・ 技術解説・執筆で心がけているコトは？
- ・ 解説するレベルの決め方
- ・ 参考になっているコト・ヒト

技術解説・執筆で心がけているコトは？



にゃごろう陛下 (小笠原種高)

落とし噺（落語）の
ようであること。

咀嚼してストーリーを作り、
順序立て、興味が沸くように仕立てること。

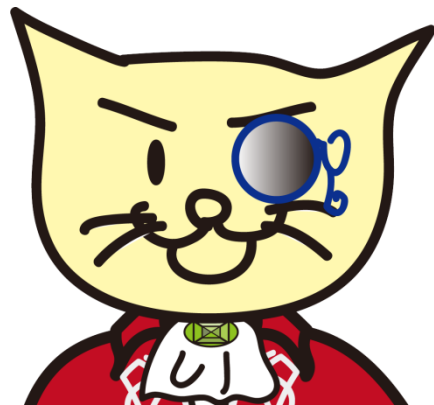


大澤文孝 (趣味は料理と作曲)

トピック3： 初学者への届け方（宣伝・販売）

- ・ 初学者はどこで情報を探しているのか？
- ・ 書き手として意識・実践しているコト
- ・ 初学者の声をどこで探すか？聞くか？
- ・ 売るために実践したコト（経験談）

売るために実践したことは？



にゃごろう陛下 (小笠原種高)

自分の絵で
勝負しない。

- ・ 秋月電子通商やマルツで売る
- ・ 恐れずに厚い本を書く

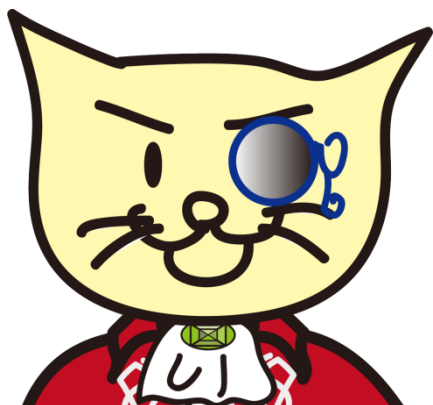


大澤文孝 (推しはアイデア氏)

実際にアピールがうまくいった例

AWS本
デザイナーさんが神

Docker本
イラストが神



にゃごろう陛下
(小笠原種高)



実際にアピールがうまくいった例



500頁超え。
黄色いDocker本は
450頁



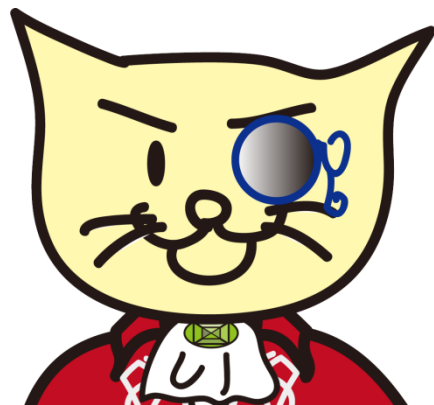
大澤文孝 (ツイステが好き)

書店だけでなく、秋月やマルツで取り扱って貰うこと
で、書店以外の販路が拡大

トピック4： この先10年の技術解説書への期待

- ・今の技術解説書をどう思う？
- ・初学者向け技術解説書の書き手は？
- ・そもそもの必要性和期待

今の技術解説書をどう思う？



にゃごろう陛下 (小笠原種高)

頂上とせず、登り途中と
せねばならない。

前提知識がない人には、まだまだ
読みにくい。「前提」「目的」
「手順」を、もっと意識したい。



大澤文孝 (ツイステが好き)

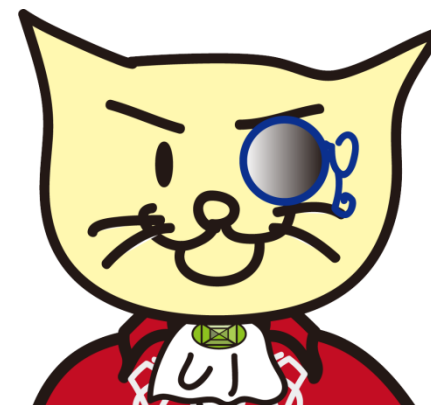
質疑応答



Follow me!

 技術評論社

@gihyo_hansoku
@gihyodp



@shigetaka256
(にゃごろう)



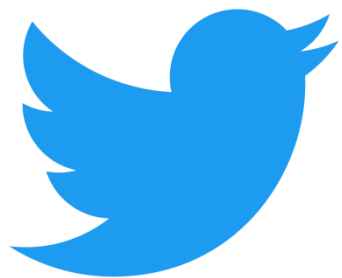
@sour23
(大澤文孝)



まとめ：

初学者向け技術解説書への期待

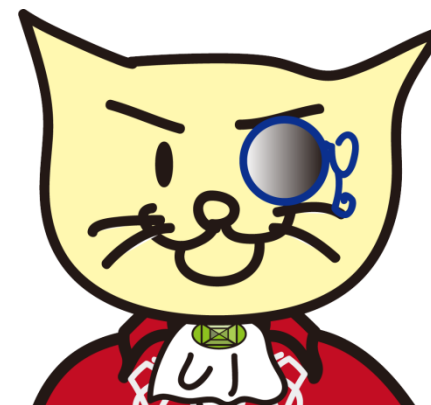
ありがとうございました。



Follow me!

 技術評論社

@gihyo_hansoku
@gihyodp



@shigetaka256
(にゃごろう)



@sour23
(大澤文孝)